

天童 市議会だより

2013
8.1
No.141
TENDO



6月定例会

- 2 議会改革 7
- 3 一般質問 11人
- 7 臨時会、議会のうごき
- 8 予算特別委員会 平成25年度6月補正予算
- 9 討論 5件
- 10 提出された議案とその結果
- 11 特集 議会では⑰ 政務活動費
- 12 議会報告・意見交換会の報告
- 14 常任委員会 行政視察の報告
- 16 市民の声・9月定例会の日程 (予定)

▲津山小5・6年生の児童が、7月6日の天童紅花まつり開園式で、勇壮な「湯の上太鼓」の演奏を披露しました。津山の豊かな自然を表現した迫力ある太鼓の音色が響きわたり、まつりに彩りをそえました。



インターネットで議会中継

天童市議会

で

検索

<http://www.city.tendo.yamagata.jp>

議会・議員の活動原則、果たすべき役割や責務を明確にします。

■議会基本条例とは

全国の地方議会において、議会及び議員の活動原則、果たすべき役割や責務などを定めた「議会基本条例」の制定が相次いでいます。

「議会基本条例」は、平成18年5月に北海道栗山町が地方分権の時代に対応した議会運営のルールとして制定したのが始まりとされています。

■県内の状況

県内13市においても、平成23年4月の酒田市を初めとして、今年の春までに、村山市、寒河江市、山形市、米沢市の5市で「議会基本条例」が制定されています。

また、県内の町村においても庄内町(平成20年4月施行)などで制定しています。

なお、県議会においても平

成26年9月定例会を目的に制定するというところで協議がなされています。

■天童市議会の取り組み

天童市議会は、平成24年3月に「議会改革特別委員会」を設置し、議会のあるべき姿を目指して、さまざまな議会改革を実施してきました。

しかし、これら改革の内容は、内部規定や申し合わせ事項の改正などが多いため市民には分かりにくいものでした。

そこで、議会改革の内容や活動原則、基本理念などを明らかにして、市民の議会への理解を深めるために、「議会基本条例」を制定することにしました。

■条例案策定委員会を設置

議会基本条例を制定するため、議会改革特別委員会に5委員から成る小委員会（議会基本条例案策定委員会（山崎諭座長））を設けて条例案を協議しています。

議会改革特別委員会の検討結果

検討・協議した項目	検討結果
議員定数・議員報酬について	議会報告・意見交換会が出された意見に対して、議会だよりで回答することに決定した。
議会基本条例について	制定することに決定した。条例の案を協議する小委員会を設置し、条例案ができ次第再度検討を行う。

議会改革特別委員会の開催予定

開催予定日
<ul style="list-style-type: none"> * 議会基本条例の案をまとめる小委員会の進行状況によって、議会改革特別委員会の開催日程が決まります。 * 議会改革特別委員会の開催日程が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。 * 一般傍聴席は20席です。傍聴希望者は開会10分前までに所定の受付をしてから入室してください。また、休憩時を除き入退室はできません。 * 詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

6 月 定 例 会

審 議 日 程

平成25年度第2回市議会定例会（6月定例会）は、6月7日から21日までの15日間の会期で開かれました。

市長提出の報告6件は初日に報告され、そのほか、平成25年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案2件、条例議案等6件、請願3件については、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、最終日の本会議で採決が行われました。

また、最終日の本会議に市長提出の議案1件（市長等の常勤特別職及び市職員の給与を臨時特例的に減額する議案）が追加提出され採決が行われました。

（採決結果は10ページに掲載してあります。）

月 日	内 容
6. 7 (金)	本会議（会期の決定、提案理由の説明、討論、表決など）
6.11(火) 6.12(水)	本会議（市政に対する一般質問）
6.13(木)	総務教育常任委員会（付託案件の審査） 環境福祉常任委員会（付託案件の審査）
6.14(金)	経済建設常任委員会（付託案件の審査）
6.17(月)	予算特別委員会（付託案件の審査）
6.18(火)	予算特別委員会（討論、表決） 経済建設常任委員会（付託案件の審査）
6.21(金)	本会議（委員長報告、質疑、討論、表決など）

市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、6月11日、12日の2日間の日程で、11人の議員が行いました。

観光振興をはじめ、公共施設の改築や透明な市政運営について、市長や教育長の見解を求めました。

観光

山形DCで 天童市のPRを



山口桂子議員
来年度の山形
デステイネー
ションキャン
ペーン

ペーン（DC）の成功に向けて、特に、観光資源の磨き上げと、市民あげての「おもてなしの心」をどのように盛り上げ、展開しようとしているのか。また、市が中心となって、温泉組合や商工会議所、観光物産協会など関連する団体との協働が重要と考えるがどうか。

山本市長 山形DCに対応するため、5月に、市をはじめ、観光物産協会、天童温泉協同組合、JRT天童駅、JAてんどう、天童商工会議所から成る企画検討会が発足した。今後協議を重ね、旅行商品を検討するとともに、「おもてなしの心」を大事にしなが、市民あげての取り組みを進めていく。

今年は8月28日から30日に、



▲6月14日から16日まで、JR仙台駅で天童をPR

国内旅行業者を対象とした全国宣伝販売促進会議等が実施され、それに向けて観光資源の磨き上げや、ガイドブックに採用されるような提案をしていきたい。本市特産の将棋駒のほか、天童温泉、フルーツ、織田の里天童等の観光資源を活かし、にぎわいある観光都市天童を目指す。

注 山形デステイネーションキャンペーンとJRTグループと地方自治体や観光事業者が連携して集中的に宣伝を行い、全国からの誘客を図る観光イベント。来年6、9月にかけて山形で開催される。

質問者と質問事項（☆印は会派名）

★清新会

山口桂子議員

- *観光の振興について
- *相談窓口体制の充実について
- *発達障がい者の実態と福祉の里構想の進展について
- *男女共同参画社会の推進について
- *天童高原整備開発について
- *水戸芳美議員
- *天童公園について
- *市立公民館へのAED設置について
- *天童二周辺環境整備について

★市民クラブ

茂木孝雄議員

- *6次産業の育成と、市内農産物を活用した商品開発とPRの推進について
- *市民に開かれた透明な市政運営について
- *天童市のまちづくりについて
- *狩野佳和議員
- *市長の給与について
- *モンテディオ山形の支援について
- *海鋒孝志議員
- *子育て支援日本一への具体的政策について（就学前・乳幼児期の対策）
- *小中学校の学級運営について

★自公・政和会

松田光也議員

- *恵まれた自然環境と共存した公共施設改築について
- *国道48号の西への延伸について
- *結城義巳議員
- *理数科教育の重視について
- *名誉市民の周知について
- *後藤和信議員
- *独居等の高齢者の安否確認について

★日本共産党天童市議団

石垣昭一議員

- *生活保護制度の見直しと保護基準引き下げの影響について
- *TPOPに参加することについて
- *伊藤和子議員
- *参加者に喜ばれる敬老会の取り組みについて
- *倉津川のしだれ桜の整備について

愛宕沼周辺の松枯れ対策を



水戸芳美議員
第一期工事
が完成した愛
宕沼を一周で

ようだが、歴史的観点からも、舞鶴山全体で保護が必要と思
うが、今後の対応は。

きる親水空間の周り（天童高
原のムサシの松の標高634
メートルとほぼ同じ）を散歩してみ
ると、松枯れや杉林などで景
観が損なわれている。舞鶴山
一帯で松枯れが蔓延している

山本市長 舞鶴山は、本市の
貴重な森林景観で、憩いの場
や観光資源として、重要な役
割を担っている。舞鶴山の松
くい虫被害の対応については、
自然環境保全の観点から、毎
年、春と秋に被害調査を行っ

ている。春の被害調査では、
427本の枯損が確認され、
6、7月に伐倒駆除する予定
である。防除作業は、被害が
収束するまで継続していく。
今年4月にプレオープンし
た愛宕沼の親水空間は、好評
をいただいている。愛宕沼南
側、野外音楽堂裏手の杉林等
については、景観的にも一部
伐採したいと考えている。当
該土地は字限図の不整合な場
所にあるため、今後も所有者
確認の調査を行いながら良好
な景観形成を図っていきたい。

市職員の育成システムと
評価のあり方は

矢萩武昭議員
市長は、「日
本一のまちづ
くり」を掲げ、

二期目の市政運営をスタート
した。しかしながら、市民が
最も関心のある職員の意識改
革については、「未だ道遠し」
の感がある。「市職員の育成
システム」と「評価のあり方」

について伺いたい。
山本市長 本年3月に、「天
童市人材育成基本方針」を策
定し、三つの取り組みを柱に、
職員の育成を図っている。第
一は、人を育てる職場環境の
整備である。コミュニケーション
能力向上に積極的に取り組む
職場づくりを進めている。第

二は、職員研修の充実である。
階層別研修を充実させ、社会
情勢の変化や多様化するニー
ズに対応できる職員育成に努
めている。第三は人材育成型
人事管理の推進である。人事
評価等を実施し、中長期的な
人事管理を進めている。

人事評価は、全職員の能力
評価と業績評価を実施してい
る。今後、地方公務員制度
の理念である成績主義の原則
に基づき、勤務実績を正しく
評価し、市民サービスの向上
を図りたい。

自然環境と共存した
公共施設改築を

松田光也議員
成生地区の
公共施設は本
市の中でも古

く、児童館は42年が経過して
いる。小学校の講堂は大変狭
く、子どもたちに十分な広さ
の体育館を与えるべきである。
小学校のプールも間もなく50
年を迎え経年劣化がひどい。
市立成生公民館の改築に合わ
せて、自然環境を活かした今
後の改築計画を。

山本市長 児童館の整備につ
いては、昨年度策定した「就
学前施設のあり方に関する構
想」に基づき、今年度、整備
計画を策定する予定である。
成生児童館については、その
なかで方向性を示したい。今
年度、建築予定の天童北部第
三学童保育所、成生、津山児
童クラブについても、木造建
築の設計を行っているところ
である。木造建築基準等を考
慮しながら、木造の利点を活

かせるような可能な限り、木質
化を図りたい。

水戸部教育長 成生小の講堂
はやや小さめだが、学校教育
には支障がなく、不都合はな
い。耐震性も確保されている
ので、メンテナンスを行いな
がら使用していきたい。プー
ルは、コンクリートの塗装の
劣化、ろ過設備等の老朽化が
進行しているため、年次計画
に基づき改修していきたい。

市立成生公民館については、
平成27年度に改築を行いたい。
周辺の公共施設整備との連携
を図りながら、地域の意見を
取り入れ、成生の自然環境に
配慮したデザインで改築して
いく考えである。



▲改築予定の市立成生公民館

名誉市民

市役所1階ホールへ 名誉市民の掲額を



結城義巳議員
本市の名誉市民は、村山祐太郎氏と今野忠一氏の2名である。

績は本市の名誉でもあり、写真と業績をいつも市民の目にとまる場所に掲額すべきでないか。

野忠一氏はあの細くて強靱なピアノ線を発明している。また今野氏は日本画壇の巨匠として、数多くの優れた作品を残している。二人の偉大な業

績は本市の名誉でもあり、写真と業績をいつも市民の目にとまる場所に掲額すべきでないか。

いる。

以来20年以上が経過し、この二人を知らない方が数多くいるかもしれないと感じている。このような状況を踏まえると、改めて広く市民の皆さんとともに、二人を顕彰する必要があると考えている。市役所1階ホールへの掲額も選択肢の1つとして、本市の名誉市民の功績を広く、市民が共有し、特に若い世代の探究心、向学心につながるような効果的な顕彰の方法を検討していきたい。

協働

職員の意識改革と 民意把握力強化



茂木孝雄議員
芳賀新駅設置等について
民意の的確な把握を求める声がある。市役所と地域とのパイプの強化と協働の必要性も増している。

きた。第六次天童市総合計画においても、市民参画のまちづくりを掲げ、地域づくり委員会活動やまちづくり懇談会などを通じて、市政参画や協働によるまちづくりに取り組んできた。今後も協働のまちづくりの実現を図っていききたいと考えるため、現時点での自治基本条例制定は考えていない。

「自治基本条例」の制定や市職員の「地域担当職員制」等の一歩踏み込んだ施策で、市民に開かれた、市民ニーズに柔軟に対応する市政と地域づくりを求めたい。

今後、自治会等だけでなく、NPOなど「新しい公共」の担い手が、行政と一体となって社会的活動を行うことも重要となってくるため、市民参画や協働に努めていきたい。

高齢者

高齢者の見回りネットについて



後藤和信議員
独居老人や高齢者だけの世帯が増加傾向にあり、昨年は孤独死などで大きな社会問題となった。

見守るネットワークシステムの構築だと思いがどうか。

市も対策を講じて安否の確認を行っているが、最も大切なのは、身近な隣近所や地域住民が、一体となって高齢者を

上の一人暮らし等の高齢者に対し、緊急通報装置を貸与している。近年、人感センサー式の機器を導入し、安否確認を行っている自治体もあるため、今後、先進例を調査していきたい。

高齢者を見守るシステムとして、県は、民間業者と見守り協定を締結している。これは、例えば配達時に異変を感じた際、業者が該当市町村に通報し、市町村は、民生委員をはじめとする福祉関係者に見回りを依頼するものである。近年、支援や見守りの必要性が高まっている。このため、民生委員や福祉推進員、地域社会福祉協議会との連携により、情報を共有しながら、隣近所など地域での協力体制を強化していきたい。

自治基本条例とは、自治の基本理念、市民の行政への参加権及び責務、市民と行政とのパートナーシップのあり方などが規定されるものである。自治基本条例の制定には、市民の条例制定に関する機運の盛り上がりや合意形成が不可欠であり、それなくして自治基本条例が掲げる理念の実現は困難である。

本市は、これまでも市民との協働のまちづくりを進めてきた。第六次天童市総合計画においても、市民参画のまちづくりを掲げ、地域づくり委員会活動やまちづくり懇談会などを通じて、市政参画や協働によるまちづくりに取り組んできた。今後も協働のまちづくりの実現を図っていききたいと考えるため、現時点での自治基本条例制定は考えていない。

市長給与の減額継続を



狩野佳和議員

市長は、一期目の選挙公約で市長給与

の30%削減を掲げ当選した。

平成21年2月には給与を30%削減する特例条例を提出し実行したが、二期目は無投票で当選したが、今までの6カ月の間

に給与を減額する特例条例

が提出されていない。市長就任中はその公約を継続すべきと考えるがどうか。

山本市長 一期目の私の給与は、平成21年3月以降、給料月額

の30%及び退職手当の30%を減額していた。この減額の特例条例は、減額の期間が、任期までの平成24年12月25日までであった。

市長選の公約に基づくこの給与の減額は、私の政治姿勢として、市役所改革、行財政改革を自ら先頭に立って進めたい考えから決断したものである。

一期4年を経過し、市役所改革や行財政改革に一定の成果があったことに加え、市長の給与は、私個人だけの問題ではなく、様々な面に影響を及ぼすことも考慮して、二期目の市長の給与については、条例に規定されているとおり額としている。

就学援助制度への対応と対策



石垣昭一議員

生活保護基準の引き下げに連動して、

就学援助の基準も引き下げられる恐れがある。援助を受けられなくなる世帯が広がれば、子どもの教育権・発達権を奪うもので、子どもたちへの影響とともに、社会全体の損失

である。就学をますます困難にすると思うが、その対応と対策について伺いたい。

水戸部教育長 「要保護児童生徒援助費補助金」の対象者の見直しについて、国は5月に「平成25年度の生活保護基準の見直しによる影響を受けないよう、年度当初に要保護者として就学支援を受けてい

た者で、特に困窮していると市町村が認めた者については、引き続き対象者として同様の取扱いとすること。」と改正した。また、準要保護者についても、これらの国の取組みを踏まえ、各自治体で判断することとしている。

教育委員会としては、県や近隣市町と情報交換を行い、生活保護基準の見直しが行われても、現在、就学援助を受けている児童生徒が影響を受けないよう、基準の見直しも視野に入れて対応したい。

水戸部教育長 QUテストは、学級診断尺度調査で、有効に活用することによって、不登校に至る可能性の高い児童生徒、いじめ被害を受けている可能性の高い児童生徒を早期に発見できると言われている。

しかし、単にこのテストを行うだけでなく、どう指導に生かしていくかが問われる。そのためにも、教師がQUの効果的な活用法を学んでいく必要がある。

最も大切なことは、日常の観察や面談、アンケート等によりしっかりと学級や児童生徒の状況を把握することである。その上においてこそ、このテストの活用意義が高まるものと考えられる。

テストの実施にあたっては、予算的な課題も多く、実施できない学校もあるのが現状である。県内でも実施している市町村が増加している状況で、教育委員会としては、各学校の意見や状況を踏まえながら、導入や支援についての調査研究を重ねてまいりたい。

QUテスト導入と市の支援を



海鋒孝志議員

いじめや学級崩壊などを事前に把握する手法として、QUテストが有効とされ、注目されている。少ない費用で、学級の状態を把握でき、先生方の指導にも役立つQUテストを市内の全小中学校で導入すべきと思うがどうか。他の自治体の学校での導入状況も併せて伺いたい。

水戸部教育長 QUテストは、学級診断尺度調査で、有効に活用することによって、不登校に至る可能性の高い児童生徒、いじめ被害を受けている可能性の高い児童生徒を早期に発見できると言われている。

しかし、単にこのテストを行うだけでなく、どう指導に生かしていくかが問われる。そのためにも、教師がQUの効果的な活用法を学んでいく必要がある。

最も大切なことは、日常の観察や面談、アンケート等によりしっかりと学級や児童生徒の状況を把握することである。その上においてこそ、このテストの活用意義が高まるものと考えられる。

テストの実施にあたっては、予算的な課題も多く、実施できない学校もあるのが現状である。県内でも実施している市町村が増加している状況で、教育委員会としては、各学校の意見や状況

を踏まえながら、導入や支援についての調査研究を重ねてまいりたい。

水戸部教育長 QUテストは、学級診断尺度調査で、有効に活用することによって、不登校に至る可能性の高い児童生徒、いじめ被害を受けている可能性の高い児童生徒を早期に発見できると言われている。

しかし、単にこのテストを行うだけでなく、どう指導に生かしていくかが問われる。そのためにも、教師がQUの効果的な活用法を学んでいく必要がある。

最も大切なことは、日常の観察や面談、アンケート等によりしっかりと学級や児童生徒の状況を把握することである。その上においてこそ、このテストの活用意義が高まるものと考えられる。

テストの実施にあたっては、予算的な課題も多く、実施できない学校もあるのが現状である。県内でも実施している市町村が増加している状況で、教育委員会としては、各学校の意見や状況



▲学級活動の様子

しだれ桜に統一して 区間延長を



伊藤和子議員

天童温泉しだれ桜まつりに足を運ぶ人も増えてきた。ただ、歩橋の下流は花みずきと混在し、台無しだとの声も聞かれる。しだれ桜に植え替えるべきだ。

また、ライトアップ区間が飛車橋から市役所前の王将橋

までとなっている。区間を下流の旧国道まで延長する考えはないか。

山本市長 倉津川緑地のしだれ桜については、天童温泉しだれ桜まつりの開催に伴い、天童の春の新たな観光スポットとして注目されている。まつり区間の旧国道までの延長については、交通安全の確保

や周辺の環境への配慮など、課題が多いため、当面は現在の区間で実施したい。

現在、倉津川の歩橋から旧国道に架かる多嘉橋までの区間に、しだれ桜にまじって19本の花みずきがある。このしだれ桜と花みずきの混在は、以前から課題となっていた。今後、しだれ桜の植栽区間を、旧国道までしだれ桜に統一した方が、まつりの魅力向上に結び付くものと考えている。今後、花みずきをしだれ桜に植え替えたい。

第1回臨時会

平成25年第1回市議会臨時会が4月25日に開催され、専決処分承認1件、条例等議案4件が審議され全会一致で承認・可決されました。

▼報第1号 平成24年度天童市一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認を求めるところについて

▼議第1号 天童市市税条例の一部改正について(延滞金の割合、住宅ローン控除等を改正するもの。)

第2号 天童市介護保険

▼議第2号 天童市介護保険条例の一部改正について(市税条例に準拠する延滞金について改正を行うもの。)

▼議第3号 天童市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について(市税条例に準拠する延滞金について改正を行うもの。)

▼議第4号 天童市本庁舎耐震改修工事請負契約の締結について(大成建設(株)東北支社と約7億2000万円で契約締結するもの。)

第3回臨時会

平成25年第3回市議会臨時会が6月28日に開催され、条例1件が審議され全会一致で可決されました。

▼委員会提出議案第1号 天童市議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例の設定について(市長などの常勤特別職や一般職員の給与削減に合わせて、議員報酬を議長10割、副議長8割、議員6割を平成25年7月から平成26年3月までの間減額するもの。)

議会のうごき

- 4月
 - 17日 広報委員会
 - 18日~19日 東北市議会議長会定期総会(議長、副議長、局長/秋田市)
 - 22日 各派代表者会、議会報告・意見交換会(寺津・干布・荒谷)
 - 23日 議会改革特別委員会(議会基本条例について)、議会報告・意見交換会(蔵増・津山・高橋)
 - 24日 議会報告・意見交換会(天童南部・天童北部)
 - 25日 議会運営委員会、第1回市議会臨時会、議会報告・意見交換会(成生・山口・長岡)
 - 26日 議会報告・意見交換会(天童中部)
- 5月
 - 2日 市長要請総務教育常任委員会(平成24年度実施の体罰調査の概要及び調査結果について)
 - 8日~10日 総務教育常任委員会行政視察(苫小牧市、江別市、小樽市)、環境福祉常任委員会行政視察(糸島市、水俣市、鹿児島市)
 - 14日 議会改革特別委員会(議会基本条例について)
 - 15日 自公・政和会先進地視察(金山町)
 - 17日 市長要請環境福祉常任委員会(地域密着型サービス施設の整備について)
 - 21日~22日 全国温泉所在地都市議会議長協議会総会、全国市議会議長会定期総会(議長、局長/東京)
 - 21日~23日 経済建設常任委員会行政視察(三原市、廿日市市、たつの市)
 - 24日 市長要請総務教育常任委員会(市ホームページのバ

- 28日 ナー広告を利用した市内企業・事業所のPRについて、市長要請全員協議会(第3セクター等経営状況・事業計画について外)
- 30日 議会改革特別委員会(議会基本条例について外) 議会運営委員会
- 6月
 - 4日 議会基本条例案策定委員会
 - 7日~21日 第2回市議会定例会
 - 7日 広報委員会
 - 10日 議会改革特別委員会(議員定数・議員報酬について)
 - 14日~15日 さくらんぼトップセールス(議長、市長/東京)
 - 17日 各派代表者会
 - 18日 各派代表者会、議会基本条例案策定委員会
 - 20日 市長要請環境福祉常任委員会(風疹対策の推進について)
 - 21日 総務教育常任委員会所管事務調査(選挙投票所の統廃合に伴う投票率向上策について)、広報委員会
 - 25日 議会改革特別委員会(議員定数・議員報酬について)、議員全員協議会(地方交付税削減に伴う議員報酬について)、議会運営委員会
 - 27日 各派代表者会、議会運営委員会
 - 28日 市長要請経済建設常任委員会(観光情報発信強化事業について)、第3回市議会臨時会
- 7月
 - 3日 広報委員会
 - 9日 議会改革特別委員会(議員定数・議員報酬について)



予算特別委員会

平成25年度一般会計補正予算

1億9444万円を
増額補正

一般会計1億9444万円を追加する補正予算及び国民健康保険特別会計59万9000円を追加する補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。
審査の主なものは次のとおりです。

緊急速報メールの自動配信システムとは

委員 緊急情報自動配信装置導入業務委託料966万円を計上したが、どのように使われるのか。

危機管理室長 平成22年に全国瞬時警報システム（Jアラート）が設置されている。その情報を市民へエリアメールで自動配信する装置を整備するもの。装置本体価格は726万6000円、庁内ネットワークワーク整備費が239万4000円。費用は全額、国が負担する。

田麦野地域へコミュニティ助成事業

委員 社会教育一般に要する経費250万円の内容は。

生涯学習課長 田麦野地域の地域づくりや地域の子どものための環境学習に活用するた

めに、田麦野青年会が移动式炭焼き窯を購入する費用を助成するもの。財団法人自治総合センターからの補助金を活用する。

認知症グループホームと小規模多機能型施設

委員 老人福祉施設の整備支援に要する経費が1億5240万円と大型補正となっている。なぜ当初予算で計上できなかったのか。またその内容は。

社会福祉課長 県の内示が5月8日だったため、今回の補正に計上した。

特別養護老人ホームの待機者が433人と増え続け、認知症の高齢者が年間100人ずつ増加している。その対応策として認知症高齢者グループホームを2カ所、小規模多機能型居宅介護施設2カ所に対して補助するもの。

農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業

委員 創意工夫プロジェクト支援事業費補助金1409万9000円の事業内容は。

農林課長 農産物生産拡大と、ブランド立ち上げ事業のための農作業小屋等整備に補助金を交付し、創意工夫に富んだプロジェクトを支援するもの。補助率は3分の1以内。

経営体育成支援事業

委員 農業担い手の確保・支援に要する経費1201万6000円の事業内容は。

農林課長 人・農地プランに位置づけられた中心経営体等が融資等を受け、農業用機械等を導入する際、融資残に対して補助金を交付し、経営改善を支援するもの。補助率は、総事業費の3分の1以内。

一般会計補正予算(第1号)あらまし

補正額 1億9444万円
予算総額 209億6444万円

◆主な内容 (単位：千円)

防災対策に要する経費	9,660
老人福祉施設の整備支援に要する経費	152,400
生活保護等の事務に要する経費	1,134
農業振興一般に要する経費	14,099
農業担い手の確保・支援に要する経費	12,016
社会教育一般に要する経費	2,500

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)あらまし

補正額 59万9000円
予算総額 67億7632万6000円

◆主な内容 (単位：千円)

国民健康保険の一般事務に要する経費	378
-------------------	-----

討論

6月21日の本会議において、議案1件と請願3件について討論が行われました。

採決の結果、議案については賛成多数で可決、請願については3件とも賛成少数で不採択となりました。

▼議案第13号 天童市職員給与の臨時特例に関する条例の設定について

〈反対〉狩野佳和議員

山形市と小国町は職員給与を削減しない方向であり、県が削減する意向だから、市も同調する道理は無い。給与削減案を否決した自治体もある。

市長の給与は就任一週目に30%削減したが、現在は満額の94万円である。行財政改革に一定の成果ができたというが、未だ道半ばと考える。「先ず隗より始めよ」一週目に約束した30%削減を先ず実行すべきである。

また、労使交渉をせず、強行に議会に提案するのは、民

主主義の根幹を揺るがす大きな問題である。

地方交付税が減額されれば厳しい状況になるが、職員が知恵を出し効率良く事業を推進し、歳出削減をすれば、乗り切れるものと考ええる。

〈反対〉伊藤和子議員

地方交付税法では、地方自治の本旨を尊重し、条件を付けたはその用途を制限してはならないと規定している。この度の職員給与削減を目的とした地方交付税の減額は、地方交付税法にも反するところでもないやり方である。

5月末の市職員組合との協議の中でも、必要に応じて労使間の交渉・協議を行うと言っているながら、協議の暇もなく、今定例会最終日に追加議案として提出した。一番民

主的に物事を運ぶべき地方自治体が、十分な協議もせずに提案したことは許せない。

地方公務員の給与削減は、地域の給与水準に大きな影響を与え、政府が唱えるデフレ不況脱却にも逆行するもので反対する。

▼請願第1号 消費税増税の中止を求める意見書採択の件

〈賛成〉伊藤和子議員

政府は平成24年度末に大型補正を組み、景気を回復しようとして躍起になっているが、アベノミクスによる効果は、ごく一部の人は良くなったが、

給与も増えず、雇用も生んでいない。それどころか、急激な円安による諸物価の値上がりは生活や経営を直撃し、暮らしが大変になっている、営業できないとの声が聞かれる。消費税増税については、9

月に経済状況を判断し、来年4月からの増税にゴーサインを出す付帯決議がある。この経済状況の中で、消費税が増税になれば、景気が悪化することが懸念される。

市民の暮らしの現状からそうした声を届けるのが地方議会の役割であり賛成する。

▼請願第2号 公的年金2・5%削減の中止を求める意見書提出に関する請願

見書提出に関する請願

〈賛成〉伊藤和子議員

年金は10年余り、引き下げの連続だ。その間、医療や介護の保険料負担は引き上げられ、税金も上がった。10年前の特例措置を口実に、年金の2・5%引き下げを今年の10月から3年がかりで実施されることは、高齢者の暮らしにとって深刻な問題である。

地方議会への請願は、住民の貴重な権利であり、こうした市民の切実な声を採択して、意見書という形で、住民の意思を政府に届け、政府に対して、その施策の改善を迫るもので、極めて重要なものだ。地方議会はそのためにあるといっても過言ではない。

公的年金2・5%削減を中止するよう国に意見書を提出する請願に賛成する。

▼請願第3号 TPP参加反対を求める請願

〈賛成〉石垣昭一議員

安倍政権は、交渉力でTPPの貿易ルールづくりをリードし、国益を実現すると表明してきたが、事前協議の結果は、この主張に何の根拠もな

かったことを示している。この度提出された請願では、農業生産が3兆円減少するとした政府試算や、山形県が発表した668億円の減少額からして、農業への打撃があまりにも大きいと、その窮状を訴えている。

願意を妥当とするならば、採択して意見書として国へ送付することは当然である。先に提出された請願と要旨が同じだからと不採択にすることはあってはならず、議会としての良識の問題で、ぜひ議員皆様の賛同を賜りたい。

永年勤続表彰

5月22日に東京日比谷公会堂で開催された全国市議会議長会定期総会において、永年勤続として次の方々が表彰されました。

◇議員25年以上 (特別表彰)
伊藤 和子 議員 (S62.10~)

◇議員15年以上
伊藤 護國 議員
(H9.2~H15.1、H15.10~)

提出された議案と結果

第1回臨時会（4月25日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第1号	平成24年度天童市一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認を求めることについて	承認 全会一致
議第1号	天童市市税条例の一部改正について	原案可決 全会一致
議第2号	天童市介護保険条例の一部改正について	原案可決 全会一致
議第3号	天童市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決 全会一致
議第4号	天童市本庁舎耐震改修工事請負契約の締結について	原案可決 全会一致

議案番号	件名	結果
報第7号	平成24年度天童市情報公開条例の運用状況の報告について	報告
議第5号	平成25年度天童市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
議第6号	平成25年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
議第7号	天童市天童高原施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 全会一致
議第8号	天童市放牧場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 全会一致
議第9号	天童市空き家等の適正管理に関する条例の設定について	原案可決 全会一致
議第10号	天童市市営住宅条例の一部改正について	原案可決 全会一致
議第11号	天童市新型インフルエンザ等対策本部条例の設定について	原案可決 全会一致
議第12号	ゲレンデ整備車の取得について	原案可決 全会一致
議第13号	天童市職員の給与の臨時特例に関する条例の設定について	原案可決 賛成多数

第2回定例会（6月7日～21日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第2号	平成24年度天童市一般会計予算繰越明許費の報告について	報告
報第3号	平成24年度天童市公共下水道事業会計予算繰越しの報告について	報告
報第4号	天童市土地開発公社の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第5号	公益財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第6号	株式会社スポーツクラブ天童の経営状況並びに事業計画の報告について	報告

第3回臨時会（6月28日）〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第1号	天童市議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例の設定について	原案可決 全会一致

議案等に対する議員の賛否一覧表（賛否が分かれたもの。これ以外は全会一致。）

議案	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	氏名 会派	武田正二 清	水戸芳美 清	遠藤敬知 清	茂木孝雄 市	村山俊雄 清	狩野佳和 市	松田光也 政	矢萩武昭 清	山口桂子 清	海鋒孝志 市	木村竹虎 無	赤塚幸一郎 市	結城義巳 政	後藤和信 政	山崎諭 清	石垣昭一 共	小松善雄 清	鈴木照一 清	伊藤護國 清	浅井健一 政	伊藤和子 共	水戸保 無
議第13号 天童市職員の給与の臨時特例に関する条例の設定について (国からの要請に伴い、7月から来年3月までの間の支給給与を、市長等の常勤特別職10%、一般職3~7.5%減額するもの。)		○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議
請陳第1号 消費税増税の中止を求める意見書採択の件		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	議
請陳第2号 公的年金2.5%削減の中止を求める意見書提出に関する請願		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	議
請陳第3号 T P P参加反対を求める請願		×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	議

※ ○=賛成、×=反対、議=議長（議長は採決に加わらない）

※ 会派（採決時）：清=清新会、政=自公・政和会、市=市民クラブ、共=日本共産党天童市議団、無=会派に属さない議員

■政務活動費とは

政務活動費とは、地方自治法に基づき、市長が議員の市政に関する調査研究その他の活動に資するための必要な経費の一部として交付するものです。

地方自治法の改正に伴い、平成25年3月、名称が「政務調査費」から「政務活動費」に改まり、4月から適用になりました。また、その用途についても、要請・陳情活動などが加わり、用途を条例で定めるとともに、一層、透明性が求められるようになりました。

天童市議会では、昨年から議会だよりにおいて、収支報告を公表しています。

本市では、会派（1人会派を含む）に対して、所属議員1人当たり月1万3000円（年額15万6000円）を、4月に交付しています。交付を受けた会派は、年度終了後に収支報告を議長に提出し、不用額は返還することとなっています。

平成24年度分の収支報告の内容は、別表のとおりです。

◆別表 平成24年度政務調査費

会派（議員）名	人数（人）	交付額（円）	使 途（円）				返還額（円）
			調査研究費	資料作成費	資料購入費	合 計	
清新会（※）	10	1,651,000	1,430,500	10,775	0	1,441,275	209,725
自公・政和会	4	624,000	589,969	417	0	590,386	33,614
民主市民クラブ	3	468,000	297,475	999	34,050	332,524	135,476
水戸 保	1	156,000	84,780	0	47,600	132,380	23,620
伊藤 和子	1	156,000	0	0	0	0	156,000
石垣 昭一	1	156,000	0	0	0	0	156,000
赤塚幸一郎（※）	1	65,000	0	0	2,000	2,000	63,000
茂木 孝雄	1	156,000	99,616	0	88,200	187,816	0
合 計	22	3,432,000	2,502,340	12,191	171,850	2,686,381	777,435

（※赤塚幸一郎議員は年度途中の11月から清新会から無会派となった。）

◆調査研究費の内容（先進地視察、研修会参加など）

清新会	7月31日 ～8月2日	北海道栗山町	議会改革について（議会基本条例の制定経過と実践状況）
		北海道網走市	議会改革について（議会活性化特別委員会の取組み状況）
		北海道千歳市	千歳市の防災対策について（防災学習交流センター等）
自公・政和会	2月4日～5日	群馬県館林市	市街地活性化と観光振興について（「下町夜市」）
		茨城県土浦市	議会改革について（議会改革推進委員会と基本条例改正）
自公・政和会	7月10日～12日	北海道登別市	議会改革の取組みについて（議会改革の状況等）
		北海道苫小牧市	「ゼロごみのまち とまこまい」（ゼロごみ大作戦の取組み）
	北海道旭川市	まちなか活性化交流拠点創出事業について	
	7月25日	酒田市	議会報告会の運営について
	10月18日～19日	東京都昭島市	企業訪問
民主市民クラブ	2月4日～5日	山梨県都留市	自然エネルギーを利用したエコタウンの取組みについて
		千葉県柏市	空き家等適正管理条例について
		千葉県千葉市	三世同居等支援事業について
民主市民クラブ	10月25日	東京都千代田区	全国自治体病院経営都市議会協議会 地域医療政策セミナー
		滋賀県彦根市	観光・駅前商店街の取組み、ゆるキャラの活用について
		滋賀県大津市	〇2（オーツー）健歩運動について
		滋賀県大津市	市町村議会議員短期研修
水戸 保	10月28日～30日	大阪府大阪市中央区	地方議会研究会主催セミナー
		大阪府東淀川区	地方議員研究会主催セミナー
茂木 孝雄	5月24日	東京都千代田区	地域科学研究会主催研修会
		東京都渋谷区	日本経営協会講座

◆資料作成費の内容

清新会	コピー代、事務用品購入
自公・政和会	コピー代
民主市民クラブ	コピー代

◆資料購入費の内容

民主市民クラブ	情報誌購読、書籍購入（1冊）
水戸 保	書籍購入（8冊）
赤塚幸一郎	書籍購入（1冊）
茂木 孝雄	冊子購読

議会報告・意見交換会

2回目となる議会報告・意見交換会を、4月22日から26日までの5日間の日程で市内12カ所の市立公民館で行いました。年度初めで忙しい時期でもあり、約230名と昨年より少ない参加となりました。参加していただきました市民の皆様には感謝申し上げます。

各地域で出されました議員定数・議員報酬に対する現時点での議員の考えは次ページに掲載しています。ご意見を踏まえて、今後検討を重ねてまいります。

また、市政に対する意見・要望については、市長等に文書で送付するとともに、市民皆様の貴重な声と受け止め、議会における政策立案や政策提言につなげていきたいと考えております。

なお、各会場の報告書（簡易な会議録）については、当該市立公民館に送付してあります。また、ホームページからは全ての報告書がご覧いただけます。

天童中部・寺津・山口

参加議員

伊藤護國、山崎 諭、後藤和信、赤塚幸一郎、狩野佳和、遠藤敬知

議員に対して叱咤激励なども含めて活発な意見をいただいた。定数・報酬については見直すべきとの意見が多く、行政課題については市民病院や国保などの意見があった。

また、西部地域への取り組みがほとんど無く、過疎化に歯止めが掛からないという意見などがあった。全体的に、議員として



もっとしつかり活動することを期待されていた。

天童南部・津山・荒谷

参加議員

伊藤和子、木村竹虎、山口桂子、松田光也、水戸芳美

季節的に花見の時期の開催になったためか、参加者が少なかった。より多くの市民に参加してもらうため、特に、女性が出席できる時間など内容を再考する必要があるのでは。

各会場とも、訴えなければとメモを手で発言される姿に真剣さが伝わり、我々も真摯に向き合わなければとの思いを強くした。気軽



に座談会のように話し合える場を考えていきたい。

高掬・長岡・干布

参加議員

結城義巳、鈴木照一、小松善雄、石垣昭一、武田正一

3カ所の会場とも参加者が思ったよりも少なかった。周知が徹底しなかったものと反省している。

参加者の話を伺うと、沢山の市民が「天童市議会会議録」を見ていない実態が明らかになった。

会場ではモンテディオ山形のスタジアム建設問題や、芳賀地区の開発に係わる新駅設置や大規模ショッピング



グセンターの話題や意見が多く出された。

天童北部・成生・蔵増

参加議員

浅井健一、海鋒孝志、矢萩武昭、村山俊雄、茂木孝雄

議会の活動として、地域や市政の課題について広く市民の意見を聴く「議会報告・意見交換会」は、今回で2回目の開催であった。

参加人数については残念ながら数字であった。開催時期や周知の方法を含め、先進例に学びながら改善の方法を探っていきたい。

議員定数・報酬をはじめ、市役所と町内会との関係や



芳賀地区の新調整池などの意見があった。

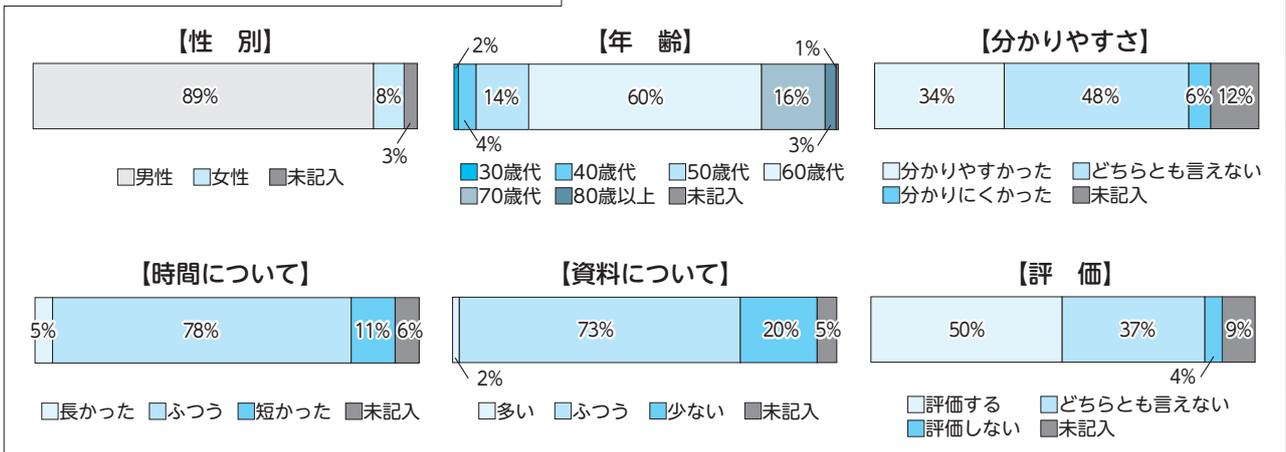
市長へ文書で伝えました。(市政に対する意見・要望)
天童市スポーツ振興基本計画が作成されたが、その基本計画を誰が進めていくのか不明である。プロスポーツの支援は見えやすいが、子どもから高齢者まで、いかにスポーツに参加するのが大事。文化スポーツ課が新設されたが、スポーツ日本一を謳うなら特化した部署を設けるべきと考える。(天童南部)
芳賀地区にも病院が進出するようだが、市民病院の内容を充実させて機能を強化する必要がある。赤字の解消を要望する。(天童中部)
市老人クラブ連合会が50周年を迎えるが、会員も減少するなかで、現在の市からの補助40万円では苦しいので増額をお願いする。(成生)
高速道路を挟んで東西が分断され、西部地区には「ゆびあ」以外なものもない。公共施設を西部にもっと増やしてほしい。(寺津)
日本一の第一中学校が完成するが通学路は日本一悪い。国体の時から青写真のままである。地元から要望しても予算が無いと断られる。天童高原よりも通学路に予算を向けて整備してほしい。(津山)
県道281号線にカーブミラーを早急に取り付けてほしい。(山口)
イオンのような大型店も良いが、高齢者の買い物難民がいる。商店街と高齢者への対策を考えてほしい。(高掬)
側溝汚泥に放射能物質があり土砂に触ると言われているが、側溝に水が溜まるし、蚊が発生して困っている。(長岡)
市で行っている予防接種は平日だと受けたくても受けられない方が多い。ぜひ、土日を受けられるようにしてもらいたい。(長岡)
芳賀新駅構想について5億円もかけて市民にメリットがあるのか。必要性を住民投票するべきである。(干布)
山形県全体でみれば天童市の財政はまだ良い方だと思うが、これから高齢者社会に入っていく時代でもあるし、ある程度ゆとりのある市政をして欲しい。例えば、嘱託員の報酬も、もっと減額して良いのではないかなと思う。(荒谷)

市政への意見・要望はこの他数多く出されましたが、紙面の関係で一部のみ掲載となりました。出された意見・要望は全て市長に文書で伝えてあります。

議員定数・議員報酬について	
議員定数、議員報酬に関する基本的な考え方は、現在、議会改革特別委員会で協議中です。	
市民の意見	議員の意見
地域代表の13名(9名削減)(蔵増)	・市政に民意が伝わらなくなるのが危惧されるので反対。 ・選挙区が1つであり、選挙の結果議員のいない地域が出る可能性がある。 ・町内会・自治会と連携を密にすれば可能であり、賛同できる。
議員定数 定数2～4名減(天童中部、津山、高掬) 現状維持(22名)(天童南部、天童中部、天童北部)	・削減数に根拠がない。 ・今の3常任委員会を維持していくのには無理がある。 ・今の3常任委員会で、各常任委員が7名という、平成19年に削減した現在の議員定数は妥当である。
議員を増員(報酬の総額を変更しないで)(津山)	・市の人口も減少するなか、増員は考えられない。
報酬の削減(天童南部、津山、高掬、荒谷)	・議員はボランティアではない。また、生活に余裕のある方しか議員になれなくなる恐れがあり、ある程度の保証は必要であり削減には反対である。
期末手当の削減・廃止(天童南部、寺津、高掬)	・期末手当の40%加算等については、今後検討していく。
議員報酬 現状維持(天童南部、天童中部、寺津)	・定例市議会や臨時市議会、常任委員会、特別委員会などの出席以外にも、日頃から議員活動を行っており、現在の議員報酬は妥当である。
働いてもらえば、増額でも良い(山口)	・現在は増額する状況にはない。
日当制が良い(長岡)	・議員は、議会本会議、委員会以外にも日常活動をしており、日当制は馴染まない。 ・報酬は、議員の活動に対する対価であり、賛同できる。

選挙管理委員会へ文書で伝えました。
投票所が減らされて困る。交通弱者は投票に行けなくなると心配している。経費削減というが他にも無駄があるはず。(天童南部)
投票所削減で700万円削減するというが、減らしたら投票率は下がるのではないかな。(蔵増)
投票所削減は区長の了解を得たと言っているが、了解していない。(蔵増)

アンケート集計																			
(アンケート回答者数)											(参加者数は議員の報告書より)								
市											内								
天童南部	天童中部	天童北部	成生	蔵増	寺津	津山	山口	田麦野	高掬	長岡	干布	荒谷	未記入	計	市外	未記入	合計	(参加者数)	(回収率)%
14	12	12	11	15	10	20	4	1	23	12	19	5	11	169	4	2	175	235	74.5



視察の報告

本市議会では、先進的で魅力ある行政施策を実施している自治体などへの視察を行っております。

行政視察の成果は、市議会の中で、本市が抱える行政課題の解決や、市への提言等に反映され、今後のまちづくりに活かされています。

今回実施した行政視察の内容をご報告します。

総務教育常任委員会

5月8日～10日

《北海道とまこまい苫小牧市

民間委託等推進計画

苫小牧市は、国際港湾と国際空港の新千歳空港を擁する交通の要衝で、工業都市として発展してきた。人口は約17万3000人である。

民間委託等推進計画の策定の理由として、財政の健全化、事務事業の効率化と人的資源の適正配分（職員配置の適正化）を掲げている。公共サービスの新たな担い手として「民ができることは民に！」を基本的な考えとしてきた。平成24年度から、学校給食

《北海道おたる小樽市

財政健全化計画

小樽運河や石造倉庫群等を有する小樽市には、年間約600万人の観光客が訪れている。人口は約13万人である。

民間委託等推進計画の策定の理由として、財政の健全化、事務事業の効率化と人的資源の適正配分（職員配置の適正化）を掲げている。公共サービスの新たな担い手として「民ができることは民に！」を基本的な考えとしてきた。平成24年度から、学校給食

《北海道えべつ江別市

消防活動の取組み

石狩平野の中央部にある江別市の人口は約12万人。札幌市に隣接しており平坦な地形である。消防署員は130名で消防団員は200名。自主防災組織率は約8割。

平成3年に女性消防団が発足し、現在は16人の女性団員がいる。活動は、救急救命講



▲消防指令センターを視察（江別市）

座や火災警報器の設置推進活動、学校などでの火災予防の講師などである。今年度から女性消防団を結成する本市としては、女性消防団をどのようになつた。少ない消防団員で運営されていたことに驚いた。

市と保護者と委託先の三者協議を継続して開催してきたことが民営化をスムーズに進めてきた原動力だった。話し合いを重ね理解を深めながら進めることが重要である。

《福岡県いとしま糸島市

公立保育所民営化

玄界灘に面し、脊振山系と田園の糸島市は平成22年合併により誕生した人口約10万人の市である。民設民営の保育

環境福祉常任委員会

5月8日～10日

園は13カ所あり、公設保育所は、平成19年2カ所、平成20年1カ所と民営化が進められてきた。今後平成27年、29年にも民営化を進める予定で、3カ所で開催約8000万円の財源削減を見込んでいる。

《熊本県みなま水俣市

環境モデル都市

有機水銀の水俣病で知られ

水俣市は人口約2万7000人。負の個性を背負ったことから、平成4年に環境モデル都市づくり宣言を行い、水とゴミ、食料の3つを基本として取り組み、平成20年に環境モデル都市の一つに認定された。平成21年にはゼロ・ウェイスト（廃棄物ゼロ）のまちづくり宣言として、①資源やエ

常任委員会	視察地	視察内容
総務教育	北海道苫小牧市	民間委託等推進計画について ～給食調理業務委託等 公共施設運営計画について
	北海道江別市	消防活動について ～消防団の活動の取組について
	北海道小樽市	財政再建化の取組について 定住自立圏形成協定による取組について
環境福祉	福岡県糸島市	公立保育所民営化について
	熊本県水俣市	環境への取組(環境モデル都市)について
	鹿児島県鹿児島市	すこやか子育て交流館(りぼんかん)について
経済建設	広島県三原市	中心市街地新規出店支援事業について
	広島県廿日市市	定住促進住宅について
	兵庫県たつの市	町並み(景観)保全について

常任委員会 行政

エネルギーの消費をできるだけ減らす②暮らしの中で使うものをできるだけ回す③ごみを限りなく減らす④そのための暮らしや仕組みをみんなであつくり支えていく①の4点を掲げている。家庭ごみの24分程度の高度分別など参考になった。

《鹿児島県鹿児島市》

すこやか子育て交流館
桜島と西郷どんで有名な鹿児島市は人口約60万4000人。すこやか子育て交流館「りぼんかん」は桜島を臨む海沿いに立地しており、1日400人を超える利用者で賑わっていた。屋内の砂場や水遊び場、音符の部屋など、工夫を凝らした施設で、大きさと部

屋の配置が手ごろで使い勝手が良い。
子育て支援のセンター機能を担っており、子育て支援施設や関係団体との連携、子育て団体の育成・支援に力を入れている。健診事業に加え、遊び・ふれあい交流・子育てネットワークづくりの融合した施設であり、本市施設の事



▲すこやか子育て交流館を視察(鹿児島市)

経済建設常任委員会

5月21日～23日

《広島県三原市》

中心市街地新規出店支援事業
広島空港がある三原市は、平成17年に1市3町が合併して新・三原市が誕生した。人口は約10万人。

中心市街地の賑わいを取り戻そうと、中心市街地の空き店舗を活用して商業を営もうとする者に補助する事業で、店舗改装補助金は必要経費の2分の1で上限50万円。店舗賃借料は月額家賃の2分の1(最長12カ月)で限度額は1階が月4万円、地階及び2階以上は月3万円。申請件数が



▲景観地区内の休憩所を視察(たつの市)

平成23年度の5件から平成24年度は11件と大きく伸びたが、出店申請の折に指導して意見書を添付し、営業開始後も支援を行う商工会議所の経営指

導員の力量と熱意が大きく影響すると思った。

《広島県廿日市市》

定住促進住宅事業

世界遺産の厳島神社を抱える廿日市市は、平成の合併で1市3町1村が合併し、人口約11万4000人。広島市の南に隣接し、瀬戸内の温和な島々から、積雪1日にもなる山間地までのエリアを持つ。

この事業は、山間部の旧・吉和村の村営住宅を利用した事業で、家賃も単身者用で共益費を含んで月2万円と安かったが、10年間の期間満了後、いかにしてこの地区に住んでもらうかが課題で、働く場の確保が必要と思った。

《兵庫県たつの市》

町並み保存事業

平成17年に1市3町が合併した人口約8万1000人のたつの市は、姫路市の南に隣接する城下町で、「薄口醤油」の醸造が盛んである。

兵庫県の条例により、歴史的景観地区に指定された2つの地区内の貴重な建造物を保存し、歴史的文化遺産を守り活かそうとする事業で、修理復旧の経費を助成(経費の2分の1300万円を上限)としている。しかし、建物の新築や改築に厳しい制限が設けられ、町割りを壊さないために都市計画道路が造れない等の問題があった。

市民の声

市民の代表として、天童市の発展のため、市民のより豊かな生活を目指して活動する議員の姿に、いつも敬意を表しています。

一般質問に立つ議員は、その場を迎えるまでの準備が大変ですね。市民の要求を把握して調査し、問題点を整理したうえで、どんなふうに話題を展開していくか構想をまとめる作業をしている姿に、本当に頭の下がる思いです。それにもまして、市政を預かる市長や執行部には、並々ならぬ苦勞があることでしょう。

実際、一般質問の場合になると、質問する議員も答弁に当たる執行部も、最初は原稿に基づいて質問と答弁を行うので、短調なやり取りに見えるかもしれませんが、1回目の質問・答弁の後には、制限時間内で再質問

住みよい天童市を目指して

三澤盛男(80歳・田鶴町)

と答弁を繰り返します。質問を終え、最後に納得して終わるときもあれば、疑問のまま要求を出して締めくくるときもあります。質問時間を残して質問席を離れる議員、質問時間が足りなくて残念な様子の議員と様々です。質問時間がもう少し長い方がよいと思っただけでも少なくありません。

議員側には、選挙の時に掲げた公約の内容を、議会開会中はもちろん、日常生活でも継続して取り組み、次期に堂々と説明できるようにしてほしいと思います。

また、市長をはじめとする執行部側は、国や県の方針に関連する答弁だけでなく、天童市の発展のため、市民の立場からの施策を創造的に説明し、推進を進めてほしいです。市長をはじめとする執行部、議員、市民が一体となって、住みよい天童を築いていければと思います。

請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は3件で、所管常任委員会で審査したあと、本会議で採決が行われました。結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
消費税増税の中止を求める意見書採択の件	消費税廃止山形地区各界連絡会 代表 佐藤 弘	総務教育	不採択 賛成少数
公的年金2.5%削減の中止を求める意見書提出に関する請願	全日本年金者組合 天童支部 川崎利夫	環境福祉	不採択 賛成少数
T P P参加反対を求める請願	天童市農民組合 組合長 太田正良 山形食健連 会長 吉田吉弘	経済建設	不採択 賛成少数

(議員の賛否は10ページに掲載してあります。)

会議録をご覧ください

市議会の会議録は、図書館と市立公民館に備えてあります。一般質問に対する市長や教育長等の答弁のほか、予算・決算特別委員会における質疑と答弁が全て記載されています。ぜひ、ご覧ください。天童市議会のホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

9月定例会の日程(予定)

- 8月30日(金) 本会議(初日)
- 9月3日(火) 本会議(一般質問)
- 4日(水) 本会議(一般質問)
- 5日(木) 常任委員会
- 6日(金) 常任委員会
- 9日(月) 決算特別委員会
- 10日(火) 決算特別委員会
- 11日(水) 決算特別委員会
- 12日(木) 決算特別委員会
- 13日(金) 予算特別委員会
- 17日(火) 予算特別委員会
- 20日(金) 本会議
- 25日(水) 本会議
- 30日(月) 本会議(最終日)

※請願の締め切りは、8月22日(木)正午までの予定です。

※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

● 昨年からは始まった「議会報告・意見交換会」は、今年で2回目の開催となり、無事終了することができました。

● 市民の皆様からは、議会に対する要望・意見よりも、市政についての要望が多く、報告会の運営方法についても、先進例に学びながら一層の工夫が必要と考えます。

● 7月から、特別職と一般職員の給与削減と同時に、議員報酬の削減も実施しました。

● 6月の猛暑や7月の大雨で、天候が安定しませんが、秋の実りと経済活動の活性化による「景気回復」を祈念したいものです。

《広報委員会》

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 狩野 佳和 |
| 副委員長 | 矢萩 武昭 |
| 委員 | 伊藤 和子 |
| 〃 | 結城 義巳 |
| 〃 | 遠藤 敬知 |
| 〃 | 武田 正二 |

